

令和5年度 学校自己評価【全日制】最終評価

香川県立高松工芸高等学校

◆学校運営計画

教 育 方 針	
自彊して息まざるの精神の涵養を柱として、家庭や地域社会と密接に連携を図りながら、心身ともに健全で、創造力に富み、社会に貢献できる人間性豊かなスペシャリストの育成に努める。	

重 点 目 標		具 体 的 目 標
1	基本的な生活習慣の確立や倫理観、規範意識の育成に努め、学校生活を充実させるとともに、これからの社会の主體的な形成者となるための自覚と実践力の向上を図る。	①日常のさまざまな指導をとおして、基本的な生活習慣を確立し、倫理観や規範意識を育成する。 ②部・同好会活動を始めとする生徒活動をより一層奨励、支援する。
2	日々の授業や、ものづくり、作品づくり、資格取得、体験学習などとおして、基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させ、創意工夫しながら課題を解決する能力を育む。	①望ましい勤労観・職業観の育成と知識・技能の向上を図る。 ②資格取得や各種大会への出場、各種コンクールへの出品を奨励し、学習意欲や創作意欲を高める。
3	学校評価や授業評価を通じて、個々の教員の指導力及び学校全体の教育力の向上を図るとともに、積極的な情報提供に努め、信頼される開かれた学校づくりを進める。	①学校評価や授業評価の結果を、学校運営や授業の改善に確実に結びつける。 ②中学生体験入学やものづくり教室、地域との連携や地域への貢献をとおして本校の魅力や信頼を更に高める。
4	学校の新たな魅力と特色づくりにつなげるため、教育内容や教育課程の見直しを行うとともに、施設・設備を最大限活用して、実習等の内容の充実を図る。	①学習指導要領の趣旨を踏まえて、検証・改善を行いながらよりよい教育活動に努める。 ②施設・設備の更なる活用を図るための整備を進める。

令和5年度 成果と課題	
①学校運営	学校評価アンケート、授業評価アンケート、学校自己評価など、いずれも計画どおり進められ、学校評価委員会にて課題などを検討し改善に努めている。
②教育課程 ・学習指導	生徒からの授業評価アンケートの結果を各教科・学科主任が分析し、検証と改善レポートを作成して配付および情報共有を行った。授業やホームルームでのICTの活用について、まず教職員がどのような場面で活用できるか研修等を通して検討する必要がある。
③生徒指導	服装は整備された状態が継続しているが、登校時の遅刻が増加している生徒も数名いるため、家庭との連携を今後も重視していきたい。また、いじめ防止対策として「学校生活アンケート」を実施し、生徒の現状把握、問題の早期発見に努めており、日常の生徒観察を全職員で引き続き実施していく必要がある。
④進路指導	就職希望者は企業の受入が可能な限り、全員が希望企業の職場見学に参加した。また、オープンキャンパスについても感染症の影響がなくなり参加者が増加した。進路資料は適宜配布し、進路資料室の利用は面接指導やオンライン面接等で活用し、2年目となった求人票Web閲覧についても昨年以上に活用できた。本校におけるキャリア教育や就職指導等の結果、就職希望者の内定率は100%であった。なお、進学希望者については、結果待ちの者が数名いるため、浪人を含め今後も継続的な指導を要する。
⑤環境・安全	依然として感染症は継続しており、感染者の増加が確認された場合は、速やかに学校医や保健体育課に相談し適宜対応している。集団指導については、生徒保健委員会を中心に研究活動を行い、個別指導については、健康診断後の受診率の向上を図るため、各担任や顧問による指導を実施している。安全管理としては、9月に津波を想定した防災訓練を実施し、また11月には香川県シェイクアウト参加を通じて防災意識の高揚に繋がった。
⑥開かれた 学校づくり	体育祭や公開授業、工芸展など各行事も4年ぶりに一般の方や中学校関係者等を受け入れ制限なく開催できた。また、中学生を対象にした学科説明会は、工業6科と定時制で行い、また美術科では体験入学を実施し、県内外から延べ750人の中学3年生が参加した。さらに工芸展は、PTAの協力もあって約5,000名の来場者があり、多くの方々に満足していただいた。
⑦特別活動	運動制限や行動制限等がなくなり、生徒の主体性も回復しつつある中で、個々の成長につながる力が育まれた。また、特別活動を学校全体で取り組む姿勢が見られ、生徒一人一人が様々な活動に挑戦することができた。部活動の運動部では、県総体やインターハイなど多くの大会で活躍し、ボクシング部が全日本女子ジュニア選手権大会のライト級で優勝した。また、ロボット部が全日本ロボット相撲全国大会のラジコン型の部で優勝するなど、文化部も県や四国大会での活躍が目立った。
⑧その他	学校評価アンケートでは、生徒・保護者ともに高い評価をいただいているが、厳しいご意見もいただいております。今後とも生徒がより充実した望ましい学校生活を送れるよう検証と改善を行いたい。